



# 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月25日

上場会社名 パナソニック電工SUNX株式会社  
コード番号 6860 URL <http://panasonic.co.jp/id/pidsx/>  
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 荒谷 悦司  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理担当 (氏名) 齊藤 隆夫  
四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名

TEL 0568-33-7211

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	30,133	45.4	2,456	38.5	2,392	40.5	1,096	26.3
23年3月期第3四半期	20,719	128.1	1,773	—	1,702	—	868	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,038百万円 (46.5%) 23年3月期第3四半期 708百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	19.49	—
23年3月期第3四半期	20.99	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	33,032	25,899	78.0	457.88
23年3月期	33,096	25,404	76.2	448.40

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 25,767百万円 23年3月期 25,235百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	38.3	3,500	50.5	3,560	56.6	2,110	73.5	37.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
平成23年12月28日よりパナソニック電工SUNX上海有限公司の清算手続きを開始しております。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	56,457,898 株	23年3月期	56,457,898 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	181,987 株	23年3月期	180,205 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	56,276,956 株	23年3月期3Q	41,384,670 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による経済活動停滞から一部回復の期待感はあるものの、欧州における金融危機、米ドル及びユーロにおける歴史的な円高進行に加え、タイの洪水による生産低下などの影響により国内景気の先行きに対する不透明感が払拭できない状況の中で推移致しました。

このような状況下、当社グループにおきましても第3四半期に入り、国内では復興需要を背景に持ち直し傾向が見られるものの、半導体製造装置や自動組立機械など産業用機械向けの需要が落ち込みました。さらに、輸出をめぐる環境は好調であった中国でも第3四半期以降は、中国の金融引き締めによる投資抑制や急速に進行した円高に伴う価格競争の影響が顕著になり、海外全体において厳しい状況が続いています。

以上の結果、事業継承分を含めた当社グループ全体の売上高は、30,133百万円（前年同四半期比45.4%増）、利益におきましては、第3四半期以降の売上高の伸び悩みにより、営業利益2,456百万円（同38.5%増）、経常利益2,392百万円（同40.5%増）、四半期純利益1,096百万円（同26.3%増）となりました。

#### セグメント別の状況

##### ・センシングコントロール事業（FA用センサ、PLC、プログラマブル表示器など）

センシングコントロール事業においては、国内は主力の半導体・液晶関連向けにおいてスマートフォン関連用途に拡大しましたが、第3四半期以降は市況の落ち込みによる設備投資抑制を受けて減速致しました。一方、自動車関連向けは、震災による落ち込みから持ち直し、回復基調にあります。また、中国においてはインフレ抑制のための金融引き締め政策等の影響により第3四半期以降は伸び悩みましたが、工場設備自動化及び社会インフラ設備需要が高まり、拡大致しました。その結果、売上高は16,899百万円（同25.2%増）となりました。

##### ・プロセッシング機器事業（レーザーマーカ、画像処理機、紫外線硬化装置など）

プロセッシング機器事業においては、電気自動車やスマートフォン関連などの成長分野に注力したことにより、3D制御FA用レーザーマーカ「LP-Zシリーズ」、新商品FA用レーザーマーカ「LP-Sシリーズ」の販売を伸ばしました。海外も自動車業界等の設備需要拡大を受け、中国・アジア地域を中心に販売拡大致しました。その結果、売上高は6,688百万円（同36.3%増）となりました。

##### ・Eco・カスタム事業（エコ関連商品、タイマ、カウンタ、カスタム商品など）

Eco・カスタム事業においては、震災以降の電力不足を受け、節電対策における電力の見える化需要が増加し、新商品投入を含め「エコパワーメータ」などエコ関連商品の販売が好調に推移致しました。その結果、売上高は6,544百万円（同182.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は33,032百万円となり前連結会計年度末に比べ64百万円の減少となりました。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は前連結会計年度末に比べ329百万円増加し、21,829百万円となりました。主な内容はたな卸資産が961百万円増加した一方、繰延税金資産が469百万円減少したことによるものです。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は前連結会計年度末に比べ393百万円減少し、11,202百万円となりました。主な内容は有形固定資産が498百万円増加した一方、関係会社株式を売却したこと等により投資その他の資産が767百万円減少したことによるものです。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は前連結会計年度末に比べ501百万円減少し、4,661百万円となりました。主な内容は賞与引当金が378百万円、未払金が348百万円減少したことによるものです。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は前連結会計年度末に比べ57百万円減少し、2,471百万円となりました。主な内容は退職給付引当金が82百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は前連結会計年度末に比べ494百万円増加し、25,899百万円となりました。主な内容は四半期純利益1,096百万円による増加と、配当金の支払506百万円の減少等によります。

当第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより8,547百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,072百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前四半期純利益2,212百万円を計上する一方、たな卸資産の増加による資金の減少976百万円、法人税等の支払による資金の減少808百万円等がありました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは301百万円となり前年同四半期に比べ359百万円収入が増加いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1,421百万円を計上する一方、預け金の払戻による収入4,100百万円、関係会社株式の売却による収入765百万円等により3,403百万円の収入となり、前年同四半期に比べ4,318百万円収入が増加いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額489百万円等により487百万円の支出となり、前年同四半期に比べ339百万円支出が増加いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、平成23年4月26日発表の公表値を据え置いております。

なお、今後、市場の動向など各種情報の収集に努め、業績予想に変更が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,263	8,119
受取手形及び売掛金	6,509	6,606
商品及び製品	1,091	1,404
仕掛品	656	622
原材料及び貯蔵品	2,377	3,061
預け金	8,310	427
その他	1,299	1,589
貸倒引当金	△9	△1
流動資産合計	21,500	21,829
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,768	3,768
その他(純額)	5,502	6,001
有形固定資産合計	9,270	9,769
無形固定資産	542	416
投資その他の資産		
その他	1,794	1,032
貸倒引当金	△10	△16
投資その他の資産合計	1,783	1,016
固定資産合計	11,596	11,202
資産合計	33,096	33,032
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,391	2,502
短期借入金	49	93
未払金	1,062	714
未払費用	337	401
未払法人税等	342	180
賞与引当金	771	392
役員賞与引当金	65	11
その他	143	366
流動負債合計	5,163	4,661
固定負債		
退職給付引当金	2,420	2,337
その他	108	134
固定負債合計	2,528	2,471
負債合計	7,692	7,133

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,155	3,155
資本剰余金	10,534	10,534
利益剰余金	11,735	12,325
自己株式	△62	△63
株主資本合計	25,362	25,951
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	35
為替換算調整勘定	△160	△219
その他の包括利益累計額合計	△127	△184
少数株主持分	169	131
純資産合計	25,404	25,899
負債純資産合計	33,096	33,032

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	20,719	30,133
売上原価	13,877	21,990
売上総利益	6,841	8,142
販売費及び一般管理費	5,068	5,685
営業利益	1,773	2,456
営業外収益		
受取利息	28	30
受取配当金	2	2
持分法による投資利益	17	5
受取地代家賃	38	38
その他	12	15
営業外収益合計	99	92
営業外費用		
支払利息	—	0
為替差損	152	139
不動産賃貸費用	6	6
その他	11	10
営業外費用合計	170	156
経常利益	1,702	2,392
特別利益		
固定資産売却益	5	16
関係会社株式売却益	—	197
特別利益合計	5	213
特別損失		
固定資産除却損	24	62
事業構造改善費用	194	—
社名・ブランド変更費用	83	97
子会社整理損	—	147
退職給付制度変更に伴う損失	—	86
特別損失合計	302	393
税金等調整前四半期純利益	1,405	2,212
法人税、住民税及び事業税	141	558
法人税等調整額	369	556
法人税等合計	510	1,115
少数株主損益調整前四半期純利益	894	1,097
少数株主利益	25	0
四半期純利益	868	1,096
少数株主利益	25	0
少数株主損益調整前四半期純利益	894	1,097
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	1
為替換算調整勘定	△182	△60
その他の包括利益合計	△185	△58
四半期包括利益	708	1,038
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	700	1,039
少数株主に係る四半期包括利益	7	△1

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,405	2,212
減価償却費	699	1,018
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△181	△82
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△316	△376
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	27	△54
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△1
受取利息及び受取配当金	△30	△33
為替差損益 (△は益)	74	91
支払利息	—	0
持分法による投資損益 (△は益)	△17	△5
有形固定資産除売却損益 (△は益)	19	45
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△197
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,160	△112
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△642	△976
仕入債務の増減額 (△は減少)	89	117
未払金の増減額 (△は減少)	△69	△361
その他	429	△217
小計	321	1,067
利息及び配当金の受取額	29	42
利息の支払額	—	△0
法人税等の支払額	△409	△808
営業活動によるキャッシュ・フロー	△58	301
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
預け金の払戻による収入	—	4,100
有形固定資産の取得による支出	△867	△1,421
有形固定資産の売却による収入	31	65
無形固定資産の取得による支出	△77	△110
関係会社株式の売却による収入	—	765
その他	—	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△914	3,403
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	51	47
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△198	△489
少数株主への配当金の支払額	—	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	△147	△487
現金及び現金同等物に係る換算差額	△103	△144
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,223	3,072
現金及び現金同等物の期首残高	3,123	5,474
吸収分割に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,685	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,584	8,547

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	センシング コントロール	プロセッシング 機器	E c o ・ カスタム	合計
売上高				
外部顧客への売上高	13,496	4,906	2,315	20,719
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	13,496	4,906	2,315	20,719
セグメント利益	2,298	183	262	2,744

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,744
全社費用（注1）	△1,124
調整額（注2）	153
四半期連結損益計算書の営業利益	1,773

(注1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) 調整額は、主に報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差異であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	センシング コントロール	プロセッシング 機器	E c o ・ カスタム	合計
売上高				
外部顧客への売上高	16,899	6,688	6,544	30,133
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	16,899	6,688	6,544	30,133
セグメント利益	2,720	388	507	3,616

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	3,616
全社費用（注1）	△1,259
調整額（注2）	98
四半期連結損益計算書の営業利益	2,456

（注1）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（注2）調整額は、主に報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差異であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。